地域音楽コーディネーター養成講座【オンライン1月】

当日スケジュール（進行状況により変更になる場合がございます）

2023年1月29日（日）

時間	講義・講師名
09:30 ~ 10:00	受付：Zoomのアカウント名は、必ず「 申込者名 」でご参加ください。出席確認します。 変更方法は、 https://applimura.com/zoom-name-change/ をご参照ください。
10:00 ~ 10:10	オリエンテーション
10:10 ~ 11:10 講義60分	①生涯学習と音楽 これからの音楽の学び 事前動画：なし 課題：あり（事前質問） レジユメ：あり 講義資料：あり
講師	河原 啓子 （国立音楽大学・青山学院大学・立教大学兼任講師、アートジャーナリスト アートドキュメンタリー作家（日本文藝家協会正会員））
出席確認方法	ビデオ設定をオンにしてご参加ください。画面上で出席確認します。
11:20 ~ 12:20 講義60分	②文化と地域創生 文化を活かしたまちづくり 事前動画：なし 課題：なし レジユメ：あり 講義資料：あり
講師	広中 省子 （ジョイントフェスティバル協議会 会長）
出席確認方法	ビデオ設定をオンにしてご参加ください。画面上で出席確認します。
12:20 ~ 13:30	昼食休憩
13:30 ~ 14:30 講義60分	③地域文化マネジメント 文化の地産地消～劇場とアーティストの協働の意義 課題：あり（動画視聴、事前質問） レジユメ：あり 講義資料：あり
講師	生田 創 （長久手市暮らし文化部 生涯学習課（文化の家）課長補佐）
出席確認方法	ビデオ設定をオンにしてご参加ください。画面上で出席確認します。
14:40 ~ 16:40 グループワーク 120分	④音楽企画書の書き方 ターゲットを明確にして、キャッチフレーズを考えれば、企画は自ずと出来上がる！ 事前動画：なし 課題：なし レジユメ：あり 講義資料：あり
講師	大谷 邦郎 （グッドニュース情報発信塾 塾長）
受講の流れ	受講者をグループ（5～6名）に分け、Zoom「ブレイクアウトルーム」を利用しグループワークを実施。グループごとに企画し内容を発表する。
16:40 ~ 16:50	まとめ

講師プロフィール

河原 啓子

国立音楽大学・青山学院大学・立教大学兼任講師、アートジャーナリスト、アートドキュメンタリー作家（日本文藝家協会正会員）

博士（芸術学）。芸術社会学、アートマネジメント論。近年の研究は「新型コロナ時代における生演奏をめぐる試論」（国立音楽大学研究紀要第56集、2021年）、「超高齢化社会におけるアートの存在意義」（同第55集、2020年）ほか。音楽とアート全般を横断的に見据えた考察を行う。第3期東京都生涯学習審議会委員、第13期東京都福祉のまちづくり推進協議会委員、第8期練馬区環境審議会委員ほか行政委員。

広中 省子

ジョイントフェスティバル協議会 会長

1957年愛知県生まれ。35年前3人の子どもを育てる中で、「地域に子育てと文化でつながる仲間を広げ、舞台芸術をとおして子どもも大人も人間性豊かに育ち合う」ことを目的とする「おやこ劇場」に出会う。以来、日進おやこ劇場運営委員長、子ども・おやこ劇場東海連絡会運営委員長、子どもと文化全国フォーラム理事などを歴任し、子どもや地域の文化活動に深くかかわってきた。2018年、長久手市文化の家館長に市民公募で選ばれ、3年間務めた後、事業アドバイザーを経て、4月より現職。公立文化施設と芸術団体、市民団体が連携して、夏休みに子どものための舞台芸術作品の公演を企画する「ジョイントフェスティバル協議会」で、子どもたちと舞台芸術との出会いを創出し、地域の子どもたちが豊かな文化環境の中で育つことを目指している。

生田 創

長久手市くらし文化部 生涯学習課（文化の家）課長補佐

名古屋生まれ、瀬戸市在住。1995年に㈱三光に入社。主に舞台音響を務める。1999年より長久手市文化の家にて企画制作の担当。これまでに長久手国際オペラ声楽コンクール、音楽フェスティバル「おんぱく」、アウトリーチ事業「であーと」など、数多く手掛ける。2021年より、東京大学先端科学技術研究センターと連携し、自然とアート（感性）の関係性を研究し社会実装を目指す「NagakuteNature-CenteredProject（NNCP）」を推進中。愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋大学、南山大学、中部楽器技術専門学校、ステージラボ（財団法人地域創造主催）などで講師を務める。日本アートマネジメント学会、日本音楽芸術マネジメント学会、各会員。

大谷 邦郎

グッドニュース情報発信塾 塾長

1984年、株式会社毎日放送入社。40歳代半ばまでは大半を「記者」として過ごし、テレビでは経済番組のプロデューサーとして活躍。ラジオ時代には放送業界では最高峰の賞「ギャラクシー賞大賞」や「民間放送連盟賞最優秀賞」などを受賞。その後、ラジオ報道部長、宣伝部長などを歴任。取材する側、取材される側をともに経験したことにより、情報発信に関する独自のノウハウを蓄積。2016年に毎日放送を早期退社し、グッドニュース情報発信塾を立ち上げ、現在に至る。情報発信の各種セミナーの講師やコンサルタントとして活躍中。また講義作家、追手門学院大学「笑学」研究所客員研究委員の肩書きも持つ。